

スパボイ

⑤

選挙編

僕たちも投票できるぞ！

誰に投票するかわからない！

あは！

みなみ君だ!!!

悩みすぎて考える人になっちゃう!!!

最初はきこなかった応援も、試合を経るにつれまわっていった。3学年の団結が深まった。



アリーナに響く 鹿南コール

女子バレー 県総体決勝

6年ぶり 学校応援

6月6日、鹿児島アリーナで開催された女子バレーボールの県総体決勝リーグで、本校3年生による学年応援が行われた。今回は学年規模だったが、試合会場に当該部活動以外の生徒たちが本格的に派遣されての応援は実に6年ぶりであり、試合会場は活気にあふれた。

試合前には、全生徒に

メガホンが渡

3試合目、鹿児島女子高との試合の様子



され、バレー部を中心に応援練習が行われた。初めての学年応援を目の前に、生徒らは応援のリズムに合わせて一所懸命に練習をしていた。

一試合目の鹿児島実業高校との試合は、

熱気あふれる体育科を中心に、全生徒がメガホンを手に声を合わせて盛大な声援を送った。

二試合目、錦江湾高校との試合では、慣れない応援で相手チームに圧倒されながらも、必死な応援が伝わり、見事に勝利を勝ち取った。

2勝0敗で迎えた、強豪校、鹿児島女子高校との三試合目。最後の試合に燃える選手らの必死な熱戦の末、残念ながら敗れたが、準優勝という快挙を飾った部員達には、生徒らから温かい拍手が送られた。

初めての学年応援に参加した生徒らは、白熱した試合に「とても興奮した。自分らの応援がプレーする選手に届いてると実感できた」や、「これほど盛り上がった応援は初めてだ」などと述べた。キャプテンの太田紗也選手(3-7)は、大勢の生徒らに「みなみ君の応援がすごい力になって、本当にうれしかった。応援の声の勢いに乗ってプレーができた」と、うれしそうに語った。

大勢の生徒の思いを背に、本校女子バレーボール部は「誰からにも愛されるチーム」を目標に、次の大会である春高予選に向けて日々前進している。

谷山カルチャーすぽっと 伝・秀頼の墓

豊臣秀頼。天下人であった豊臣秀吉の後継者でありながら、徳川家との戦いに敗れ、母である淀殿と共に大坂夏の陣で自害を遂げた悲劇の貴公子である。そんな秀頼の墓がなぜ大阪から遠く離れた鹿児島県、それもここ谷山にあるという。その秘密を追ってみた。

問題の史跡は、木之下川沿いの入り組んだ住宅地の中にある。道中各所に設置された看板をたよりに矢印に沿って進むと、高さが2メートル程もある古い塔が見えてくる。この塔こそが「秀頼の墓」といわれている。



問題の史跡は、木之下川沿いの入り組んだ住宅地の中にある。道中各所に設置された看板をたよりに矢印に沿って進むと、高さが2メートル程もある古い塔が見えてくる。この塔こそが「秀頼の墓」といわれている。

中央の宝塔が秀頼の墓とされる宝塔。高さが2メートル、首部の高さ7センチ、宝輪は9つの堂々たる墓塔である。

そもそも九州には平氏をはじめとした中央での争いに敗れた武士や公家達が多く落ち延びてきたといわれており、この鹿児島にもいくつかの伝承が残っている。そうした伝承の一つが、「豊臣秀頼が薩摩に落ち延びた」というもので、江戸時代前期にまとめられた「探要録」という書物では、谷山の住民が伝えている話として、昔谷山に秀頼ではないかと噂された浪人が住み着き、非常に酒好きでいつも酔っ払いの向くままにあちこちをめぐり、疲れたときには軒下であらうと道路であらうと寝転がり、「谷山の酔喰い(えいぐらい)」と呼ばれるようになったが、島津家から住居をおよそ2メートル、首部の高さ7センチ、宝輪は9つの堂々たる墓塔である。

とえ彼が何か秩序を乱して無礼を働いてはならないとお触れが出るなどという伝承を紹介しており、秀頼とされる人物の厚遇ぶりが詳しく記されている。しかし、残念なことにはこの塔の下からは何も出なかったとされ、この塔が秀頼の墓であるという確証もない。それでは、この塔は一体、誰のために建てられたものなのだろうか。鹿児島史談

会の木原三郎氏によると、鎌倉時代中期の谷山氏初代忠光、という人物の供養塔ではないかとされている。谷山氏はその名の通り当時谷山地域に住んでいた豪族で、南北朝時代には、以前の鹿南タイムズで取り上げた「谷山神社」の御祭神である懐良親王を迎え入れていたことから、ただの豪族ではなくある程度の力を持っていた豪族であったと思われる。その名残がこの塔だとすれば、不思議ではない。

いずれにせよ真相は闇の中であり、またこの塔を何故「秀頼の墓」と伝えはじめたのかもわかっていない。しかし、当時の人にしてみれば、そうした伝承を残したのは「判官びいき」の念からかもしれない。関ヶ原で西軍方だった島津家の領民にしてみれば、天下人の後継者でありながら、徳川家に討ち滅ばされた秀頼に対する哀れみの感情は並々ならぬものがあるはずで、



伝・秀頼の墓

(でん・ひでよりのはか)

★所在地 谷山中央四丁目木之下(個人宅の敷地内)のため見学の際は失礼のないようにする事 行き方 木之下川(谷山中央四丁目)付近の看板に沿って進む。



鹿南生 ウワサの夏味

学校生活のオアシス、食堂と購買部に夏が訪れた！暑い夏だからこそ楽しめる南高校「夏限定メニュー」を紹介します。

まず、本校食堂の夏限定メニューは、「冷奴」(100円)、「つけめん」

(290円)、「冷やしごまだれうどん」(340円)、「ざるそば」(290円)、「冷し中華」(360円)の5品。どれも涼しげで食欲のない夏にもぴったりのメニュー。

特にタイムズ記者がおススメなのが、「冷し中華」だ。食堂の特製「冷し中華」はシャキシャキとした野菜と麺のモチモチ感が甘酸っぱいタレとからみあい、夏の疲れが吹き飛ばすような絶妙な味わいだ。紅しょうがのアクセントもあって、清涼感が漂う一品。ちなみに、



次に、おぼちゃん笑顔に心が和む購買部。本校の購買部の夏ならではの商品と言えば「冷やしメロンパ

(140円)だ。5月下旬から発売されたこの飲料。レモンフレーバーの微炭酸で暑さがスッと引いていく爽快感はクセになる美味しさ。夏ならではの限定メニューたちを楽しみながら、鹿南の熱い夏を乗り切ろう！



